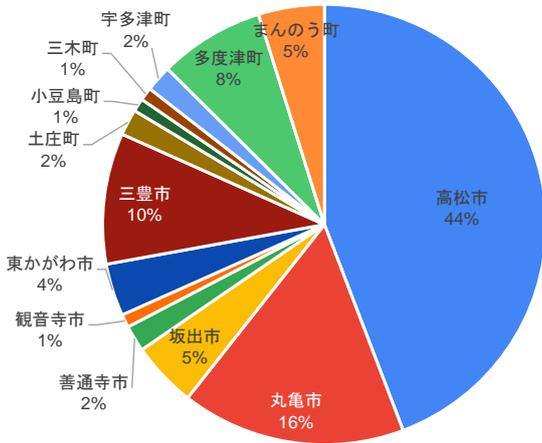
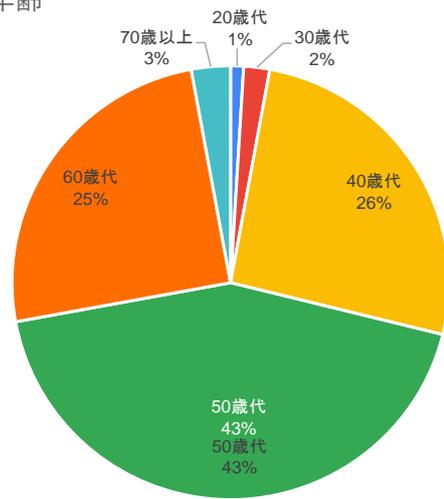


香川県委託「介護支援専門員の資質向上研修会(4)」アンケート集計
 「適切なケアマネジメント手法～第1回(10/11)の振り返りと脳血管疾患のケアマネジメント～」
 【回答率:80.6%(n=104)】

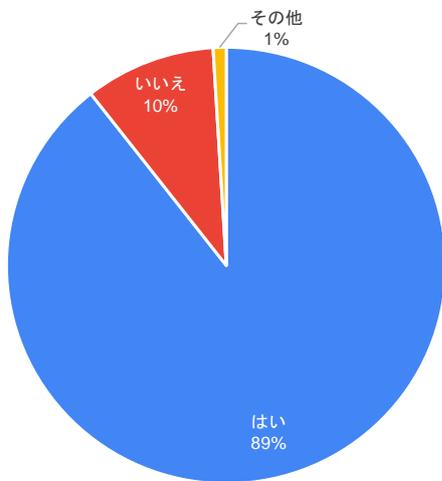
問1. 職場またはお住まい



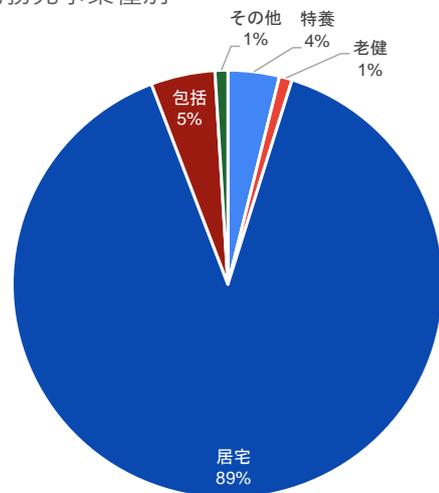
問2. 年齢



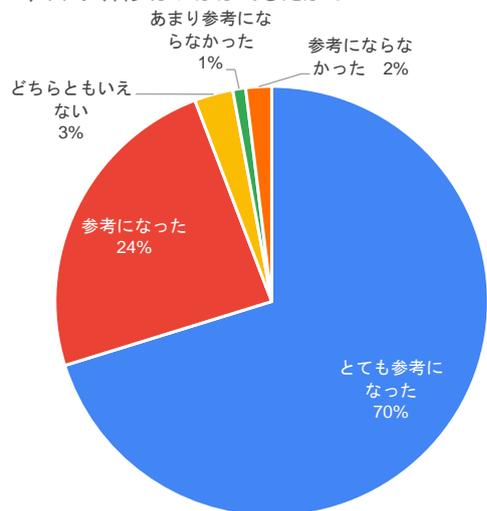
問3. 主任介護支援専門員ですか



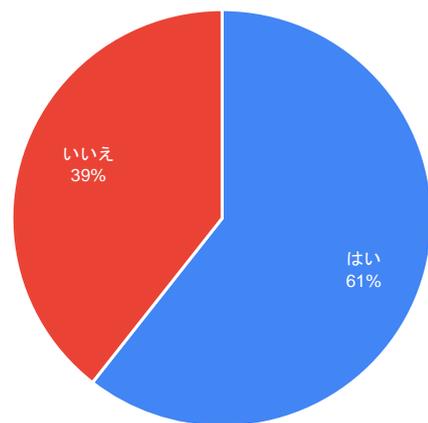
問4. 勤務先事業種別



問5. 今日の研修はいかがでしたか？



問6. 前回(10/11)は受講しましたか



問7. 問6で「はい」と答えた方は、前回の研修を受けてケアマネジメント手法は変わりましたか。またそれはどのように変わりましたか。

(まとめ)

1. アセスメント、モニタリングの質の向上 ～「何となく」から「根拠をもって」確認する姿勢への変化～

- ・ アセスメントやモニタリングを意識して行うようになった
- ・ 漏れの確認をするようになった
- ・ 想定される支援内容を確認するようになった
- ・ 聞き取りの視点が具体的になった
- ・ 深掘して質問するようになった

2. 基本ケア・疾患別ケアの意識向上

- ・ 基本ケアと疾患別ケアを活用できるようになった
- ・ 認知症の方への聞き取りがより具体的にできるようになった
- ・ 発症時の状況やその時の本人の気持ちを確認するようになった
- ・ 疾患別ケアを意識した支援ができるようになった

3. 視点の変化 ～利用者の背景や生活史をより重視する姿勢への転換～

- ・ プランを作るためのサービスを見つけるのではなく、生活に必要な支援を考えるようになった
- ・ 生活歴や好みなど本人や家族からより丁寧に聞き取るようになった
- ・ 若い頃からの生活史や好みを意識して聞き取り、サービス関係者へ伝えるよう意識するようになった
- ・ 多職種連携、これまで足りなかった視点を意識している。



4. ツールの活用、資料確認の習慣化 ～「適切なケアマネジメント手法」を実務のなかで活用～

- ・ プランがマンネリ化している方などは確認するようになった。
- ・ 項目一覧を確認するようになった。すぐ手に取れるところに資料を置いている。
- ・ 訪問の前に目を通す。

5. 課題 ～定期的に研修などで反復・振り返りが必要～

- ・ あまり変わっていない、研修が役に立っていない、実践に取り入れるまでに至っていない
- ・ 日が経つと元に戻ってしまう、研修が終わると記憶が薄れるのが現状、時間が経つとまた視点が戻っていたり欠けてしまっている

問8. 脳血管疾患のケアマネジメントについて、普段どのようなことに注意していますか

(まとめ)

1. 再発予防(再発防止)・健康管理 → 最も多い回答

- ・ 再発防止のための全身管理
- ・ 血圧測定、血圧コントロール
- ・ 食事管理(塩分、栄養バランス)や水分摂取など
- ・ バイタルチェック
- ・ 定期受診の継続
- ・ 服薬管理(内服の確認、飲み忘れ防止)

2. 生活習慣、日常生活への支援

- ・ 生活習慣の見直し(整える)
- ・ 生活環境の整備
- ・ 脳血管疾患があっても個々にできることや難しいことが違うので生活をする上で具体的に困ることか生活全般をみたアセスメントに努めている
- ・ 規則正しい日常生活
- ・ 転倒のリスク、転倒予防
- ・ 生活意欲の向上
- ・ 外出支援(気分転換)

3. リハビリ・機能維持

- ・ リハビリの継続
- ・ 麻痺などの後遺症がある場合は状態の維持・改善など本人のできることや自立支援
- ・ 後遺症に対する評価・リハビリと残存能力

4. 認知機能・高次脳機能障害への配慮

- ・ 病識を理解し注意しながら生活しているか
- ・ 易怒性など感情の変化への理解
- ・ 本人の理解度に合わせた説明

5. 家族支援

- ・ 本人だけでなく家族とのコミュニケーションも十分にとるようにしている
- ・ 家族の理解度やそれに合わせた説明
- ・ ご家族を責めるような印象にならないよう配慮
- ・ ご家族との関係
- ・ 家族への負担が大きくならないような支援(負担軽減への配慮)
- ・ 情報共有

6. 多職種連携

- ・ 医師と連携をとり、留意事項を確認しながらすすめている
- ・ 理学療法士や作業療法士とともに自宅訪問に同行させてもらう(住環境整備)
- ・ 専門職からの情報や予後予測に注意している
- ・ 早期発見、状態変化の早期把握

問9. 今日の研修で気づいたこと、参考になったところがあればお書きください

(まとめ)

1. ケアマネジメントの視点の再確認

- ・自分の視点の再確認ができた
- ・疾患別ケアを一通り見て、自分に抜けている視点を再確認できた
- ・基本の考え方から実際の支援につなげる視点まで改めて整理して学ぶことができた
- ・どういう所に注意してケアマネジメントをしたらよいか、よく理解できた
- ・当初は内容の多さに戸惑いもありましたが、各項目を精査するプロセスを通じて、自身の課題やアセスメントの抜け漏れを詳細に可視化することができた。現状を正確に把握できたことが大きな収穫であり、この気づきを日々の実務に活かしていきたい。
- ・日頃のケアマネジメントの中で抜け落ちていることなどがとてもわかりやすく理解することができた
- ・自分自身が見て見ないふりしている部分に気づけた。
- ・頭ではわかっているが、利用者の病気に対する姿勢や環境によっては、最初からあきらめている項目もあった。少し手間はかかるが、適切なケアマネジメント手法をもとに自分の頭の中が整理できていけば、相手への伝え方や、相手の理解度を上げることが可能だったケースもあったかもしれないと思った。
- ・しっかり予習をして参加したが、先生の講義を聴くことでより基本ケアの大切さや想定される支援内容や項目一覧を確認することで気づかされることが多くあった。
- ・たくさんの確認事項があるが、指導を行うためではなく視点を持つことが大切。
- ・もっと視野を広く持って支援する必要があると感じた
- ・書類作成のための作業にならないよう、多方面からのアプローチが必要と感じた
- ・適切なケアマネジメント手法を用いて根拠に基づくケアマネジメントをして、記録に残せるように実践していきたい
- ・今後、セルフマネジメントで続けて行く事に目を向ける。
- ・ケアマネの経験年数があることで、マネジメント手法が自己流になりがちだった。基本ケアや疾患別ケアにて初心に帰り学ぶことで、凝り固まった思考が解けたように感じた

2. 具体化の重要性

- ・分かっている事でも、具体的な書き込みがプランに載せられていなかった
- ・室温管理は当たり前と持っていたが、あえてケアプランに入れることで注意喚起にもなると思った
- ・水分補給ひとつ取っても「誰がどのように準備をして、どの時間にどれくらい」というところまで確認不足だったので、今後のアセスメントに参考にしたい
- ・水分摂取は必要であるが、十分な量の摂取ができていないかどうかという視点がなかった
- ・細かいアセスメントを行いケアプランに組み込むことができていなかったため、再確認したい

3. 利用者の可能性や生活への視点

- ・症状だけでなくその人の生活を全体をみるケアマネジメントの大切さを改めて考えることができた
- ・本人がしている生活をみて、様々な視点からかわっていくことが大切だと思った
- ・残存機能だけでなく、新しく何が出来るかについても考えていきたい
- ・自己点検にて家族支援や本人の機能回復のためにまだ確認し支援していくべき部分なども見えてきた。
- ・言葉を発することができないことからどうしても家族様(介護者)の意見を重視していた
- ・疾患のみに着重点を置いてマネジメントするのではなく生活習慣、環境、家族、地域などチームでの支援体制を構築してその人らしい生活が出来るようにしていきたい
- ・支援の方は自分でできる方も多いため、課題なしと捉えるプランが多い傾向にあるが、きちんと把握し対応していく必要があると感じた

4. 多職種連携、医療との共通理解

- ・医療関係者と共通の言語を身につけることが大切
- ・疾病の特徴を踏まえ、血圧の状況を医療関係者との情報共有やセルフケアも考慮する必要性を再確認できました
- ・家庭血圧の重要性 → 確認できていなかった。主治医等との連携。
- ・食事内容、タンパク質の摂取量でリハビリの関連があること ※たんぱく質を特に朝食で摂取する重要性
- ・2号の生活保護受給者の方の介護保険サービスは限られているため、食事管理等の日常生活の支援について障害支援員との連携を深める必要がある
- ・自宅での生活が継続できるように、多職種で関わって支援していく必要性

5. グループワークによる学び

- ・他のケアマネの考え方や、気づきが確認できた
- ・ケアマネは意識的に伝えるようにしても本人や家族のこだわりが強く再発防止が出来にくい。どのようにしているか他の方の意見が聞け良かった
- ・実際の質問や言葉かけなどグループワークにより参考になった

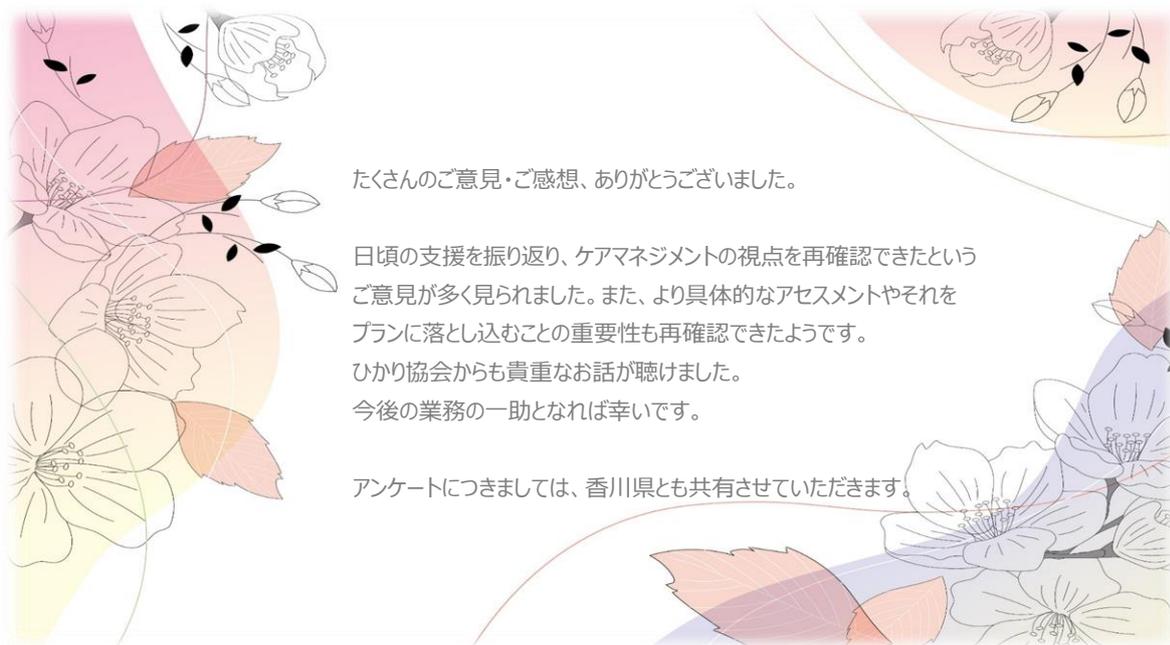
6. 継続的な学習の必要性

- ・適切なケアマネジメント手法を今後も活用して振り返ることを続けたい
- ・何度も繰り返し学び、実践することで、自分の中にしっかり落とし込むことができると感じている
- ・繰り返すことで身につけてくる
- ・当たり前の事を繰り返し学ぶことが大切
- ・何度も繰り返し反復することで自分の中に落とし込んでいけると感じた。だからか、今回の方がより理解できた。

問9. 今日の研修で気づいたこと、参考になったところがあればお書きください（つづき）

7. その他

- ・ とても分かりやすい講義でまた受講したい
- ・ 先生が一方向的に話すのではなく、理解度を確認しながら話してくださったので理解することができた
- ・ 適切なケアマネジメントは苦手意識があったが、だいぶ理解しやすくなった
- ・ 先生の「やらない前提では何も見えてこない」という言葉が印象に残った。
- ・ 今回のように連続でして頂くことで、更に理解を深める事ができた
- ・ 見方自体は理解できたので、職場のデスクのすぐ手に取れる場所にテキストを置いて、この手法が自分の中の道しるべになるようにしたい
- ・ 今回の研修で実際に演習をしてみてシートの見方、考え方を知ることができた。全ての項目を取り組むことは難しいが、できることから取り組んでいきたい。
- ・ 脳血管疾患には2つの期があること、シートが参考になりました
 - ・ I . II 期、自己点検シートは整理しやすく、活用したい
- ・ 全ての項目を確認しなくてもその時に確認する内容を決め活用していい、ということ
- ・ 森永ヒ素ミルク事件のこと、初めて知った。今後、そのようなケースに関わる事もあるかもしれないので共有したい。



たくさんのご意見・ご感想、ありがとうございました。

日頃の支援を振り返り、ケアマネジメントの視点を再確認できたという
ご意見が多く見られました。また、より具体的なアセスメントやそれを
プランに落とし込むことの重要性も再確認できたようです。

ひかり協会からも貴重なお話が聴けました。
今後の業務の一助となれば幸いです。

アンケートにつきましては、香川県とも共有させていただきます。